

Collaborative robots

RB Series

独自技術の6軸ロボットアーム

Rainbow RoboticsのRBシリーズ協働ロボットは、独自技術を使用して開発された6軸ロボットアームです。

複数のオプションが利用可能なRBシリーズは、組み立て/仕分け/パレタイジング/積み込み/積み降ろし/ピック&プレイス作業/溶接/塗装など、さまざまな作業環境における多様なニーズに応えます。

- ISO 13849-1, Cat.3, PL d
- ISO 10218-1
- ISO/TS 15066

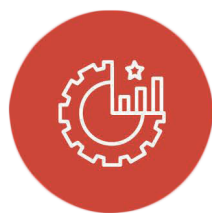


RB Series Lineup

RB3-730 RB3-1200 RBS-850 RBI0-1200 RB16-900

+ Built-in pneumatic option (A1, A2, A3) | + RB-N Series

特長

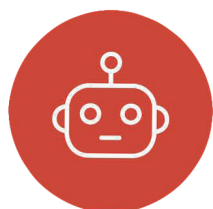
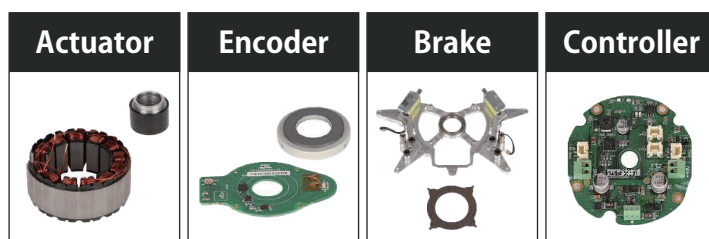


高性能・低価格

RBシリーズは、アクチュエーターやエンコーダー、ブレーキ、コントローラーなど、協働ロボットに必要なコアコンポーネントをご用意。

これらのコンポーネントにより、高速度で正確な制御を実現し、高性能に。

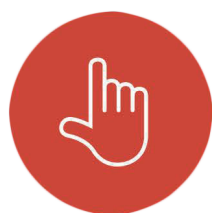
さらに、こうした豊富な独自の開発技術によって、リーズナブルな価格を実現しています。



ヒューマノイドロボット技術を組み込んだ協働ロボット

Rainbow Robotics (レインボーロボティクス) は、最先端のロボット技術で知られる二足歩行ロボット「HUBO」を開発。このヒューマノイドロボット工学の専門知識を活かして、協働ロボットの専用ラインであるRBシリーズを開発しました。

RBシリーズの各協働ロボットには、衝突検出システム、重力補償装置、高度なモーター制御システムなどの高度な機能が装備されています。



ユーザーの利便性を高めるソフトウェア

RBシリーズは、独自に開発したLinuxベースのリアルタイムロボット操作システムを搭載。操作システムは、監視制御アルゴリズムで協働ロボットのパフォーマンスを監視して最適化します。これによりスムーズな動きが可能になり、各動作にかかる時間が短縮されます。

さらに、追加機能やシステム動作のアップグレードが必要な場合には、ソフトウェアのアップデートで問題に対処することができます。



KAIST (韓国科学技術院) の「ヒューマン＆ロボット研究センター」から独立し、2011年に会社として設立されたRainbow Robotics (レインボーロボティクス) は、韓国の大田 (テジョン) 市儒城 (ユソン) 区に本社を置き、韓国で最初の二足歩行ロボットを開発した革新的な企業で、独自技術を活かした産業用ロボットの開発と生産を手がけています。